



ますのきょうだい

万寿小学校学校便り NO.18

R7年9月12日(金)

◎9月6日、7日の2日間にライフパーク倉敷で、倉敷地区児童生徒科学作品展・発明工夫展が開催されました。万寿小学校からは3名の児童の作品が展示されました。

「おどろき ちきゅうの
なかまたち」

2年4組

さん

「でんじパワーのひらひ
らちょう」

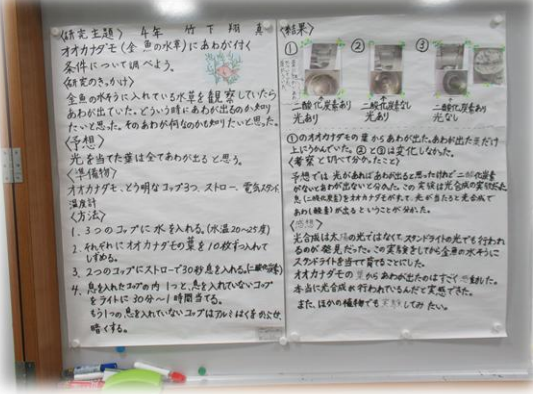
4年4組

さん

「オオカナダモ(金魚の水草)にあわが
つく条件についてしらべよう」

4年1組

さん



- ◎ さんの作品…『お姉ちゃんの星の宿題を見て、地球の周りの惑星がどんな大きさなのか重さなのか、太陽からの距離がどのくらいなのか知りたくなって作りました。』惑星を紙粘土で作り、色も丁寧に塗った力作です。
- ◎ さんの作品…『3つの科学の仕組みでチョウが動きます。1つ目は磁石の仕組み、2つ目は電気回路の仕組み、3つ目が電磁石の仕組みです。』チョウが動く仕組みがよくわかりますね。
- ◎ さんの研究…『金魚の水槽に入れている水草の観察をしていたらあわがでていた。どういう時にあわが出るのかという疑問から研究を進めています。』予想、準備物、方法、結果、感想など分かりやすくまとめていました。



教室にこんな掲示物を見つけました。

「ちゃんとやること」「こだわること」も大切です。でも、時には、「まっ いいか」ということも大切です。

◎この夏休みに、10年前の教え子(万寿小の卒業生です)が万寿小学校に会いに来てくれました。当時、卒業する時にタイムカプセルを作り、その中に10年後の自分に宛てた手紙や当時の写真なども入れて、それを私がずっと自宅に保管していました。そのタイムカプセルの中の手紙を読んだり、当時の思い出話に花を咲かせたりしました。当時は、自分の思いをなかなか話せなかった子も、立派な青年になって自分の将来の目標をはっきりと話すことができて、とても頼もしく感じました。今の万寿小学校の児童の10年後、20年後にどんな大人になっていくのか、楽しみです。小学校で、しっかりと礎を築いていかねなければという思いを一層強くもちました。子どもたちの成長ってすごいです。改めて実感した再会でした。